CM-FD2, CM取扱説明書

組立手順

ステップ 1：
カートンを開いて下さい。中には、95%組立てた状態の自転車とポスト付サドル、ペダルが入ってます

ステップ 2：
先ず、後輪と手押用ローラーを下にして、自転車を立ててください。
次に、左右の折畳まれているハンドルバーをバーの中央部に差込んで、QRレバーをクローズにして固定して下さい。

ステップ 3：
シートチューブ上部の後ろ側にあるシートステー止金を、上方に移動させます。(この時、QRレバー端は止金から離れるように、上方に回しておいて下さい。)
次に、QRレバーをオープンにしてシートポストを挿入後、
クローズにして下さい。

注意
1) サドルはシートポストの挿入限度線より高く上げないで下さい。
2) シートステー止金はQRレバーを操作する時、動かないようにして下さい。

ステップ 4：
シートチューブを後方へ移動させて、シートステーのジョイント部分と合体させた後、シートステー止金を下方に移動させます。

シートステー止金

ステップ 5：
ヘットチューブ下端のバネ止金を外し、ヘットチューブクランプをヘットチューブの下方に向けていっぱいスライドさせた後、蝶ネジ(ヘットチューブクランプボルト)でしっかりと固定して下さい。

ステップ 6：
ハンドルステム上部のQRレバーをオープンにし、バーを必要高さ上げた後、QRレバーをクローズにして下さい。

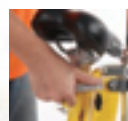
ステップ 7：
右ペダルは時計回りに、左ペダルは反時計回りにクランクにネジ込み、しっかりと固定します。

ステップ 8：
最後に、サドルとハンドルの高さ、アライメント(車体前後の芯ぶれ)などを調整してから、ご使用下さい。

折畳み手順

ステップ 1：
ヘットチューブクランプボルト(蝶ネジ)を一回転ゆるめて下さい。
サドルを後方に押しながら、ヘットチューブクランプをヘットチューブの上端までスライドさせ、バネ止金をフレームのメインチューブ下部にあるダボの突起に嵌め込んで下さい。

ステップ 2：
シートステー止金を押上げて、ジョイント部分を開放状態にします。続いてシートチューブとシートステーを離反させます。次に、サドルを持ってハンドルバーに近づけます。さらにシートポストのQRレバーを操作して、サドルをいっぱい下げて横向きに固定します。最後にシートポストのQRレバーをメインチューブ先端右の蝶ネジで挟みつけ、互いに動かなくします。

Note:
No need to turn
the QR hook.

ステップ 3：
ハンドルステムのQRレバーをオープンにしステムをいっぱいに低くすると共に、ハンドルバーを横向きにしてQRレバーをクローズにします。

ステップ 4：
ペダルを外側から押さえて折畳みます。

さあ、これで引いても、押しても、手に持っても、運ぶ準備ができました。

禁止事項
- 最大重量制限を超えて乗車しないこと
- リアキャリアに人やペットを載せないこと
- スタント的な乗り方をしないこと
- カーブで飛出さないこと
- 高さ制限を超えてハンドルを上げないこと
- 高さ制限を超えてシートポストを上げないこと
- QRレバーは過大な力で締付けないこと
- オフロードでは乗らないこと

⚠ 重要　安全チェックリスト
- クランプ類は適切な締付けがされているかチェックして下さい。
  1) ハンドルバーはガタがなく、確実に締付け固定されているか
  2) ヘットチューブクランプは回ったり、ガタついたりせず十分に締付け固定されているか
  3) シートステークランプは十分に締付け固定されているか
  4) シートポストクランプは回ったり、ガタついたりせず十分に締付け固定されているか
- ハンドルステムとシートポストは最大挿入マークを超えて引上げ、使用しないで下さい
- 常にヘルメットを着用し、交通ルールやマナーを守って乗車して下さい
- 乗車制限／リアキャリアの最大積載荷重：10Kg、平均走行速度：13Km/h、
  適応身長：185Cm以下、適応体重：80Kg以下

⚠ 重要　メンテナンスのチェックリスト
- 初回点検は、300Km走行後または購入日より1ヶ月経過後に行い、以後は3ヶ月に一回程度のわりで行って下さい
- 潤滑油の必要な部品：　チエン、ヘットパーツ、ベアリング類
- 注油禁止部品：　シートポスト、シートチューブ、角度変更式ステム、リム
- 注油は半月に一度または150Km走行後ごとにして下さい
- 雨天の走行後や洗車後は直ぐに注油して下さい